

人権教育校内教職員研修 2

■ねらい：人権教育を進めていくことの必要性を確認し、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」に示される指導内容や指導方法の基本的な内容について理解する。また、具体的な取組について考える。

■形態：グループ

(活動内容5で、学年や学部の人権教育目標に関わる取組を考える場合は、各担当者でグループ編成しておく。)

■時間：70分

■準備物：パソコン プロジェクター スクリーン
「人権教育指導の手引き」(以下「手引き」という。)
自校の人権教育目標等が示された資料
(必要があれば) ワークシート 付せん 模造紙 マーカー

■研修の流れ

	活動内容	留意点
導入 5分	1 研修のねらいを確認する。	○上記の「ねらい」を伝える。
説明 15分	2 人権教育の指導内容や指導方法等についての説明を聞く。	○「指導資料研修用」(PowerPointファイル)を用いる。
演習 40分	3 演習の流れを確認する。(3分) 4 学校や学年等の人権教育目標について確認する。(5分) 5 4で確認した目標を達成するために、各自の取組を考える。(5分)	○特別支援学校は学部別の目標を示してもよい。 ○「人権教育を通じて育てたい資質・能力」の図(「手引き」7ページ)、「発達段階ごとに育てたい資質能力例」(「手引き」51～52ページ)等を参考にすることもできる。 ○「すでに行っている取組」だけではなく「今後行いたい取組」を考えてもよい。思いつく取組を自由に挙げるとよいことを伝える。 ○取組を付せん等に記入し、6の活動のとき、種類別に分けると、取組の重複、不足について確認することもできる。 ◆取組の種類分けの例 ・「人権教育を通じて育てたい資質・能力」ごと <ul style="list-style-type: none"> ・「人権に関する知的理解」「人権感覚」の2種類 ・「知識的側面」「価値的・態度的側面」「技能的側面」の3種類 ・教科等、学級活動(ホームルーム活動)、委員会や部活動など取組の場面ごと
まとめ 10分	6 グループで各自の取組について、情報交換する。(20分) 7 各グループで話し合った内容を発表し、全体で共有する。(7分)	
まとめ 10分	8 振り返りとまとめをする。	

人権教育校内教職員研修 2 〈ワークシート〉

目標を達成するために、あなたはどのような取組を行っていますか。また、行えばよいと思いますか。

各教科・科目、道徳、総合的な学習の時間、学級活動（ホームルーム活動）、学校行事、児童会・生徒会活動、部活動など

取組の場面	教材名や内容（育成したい力等）
(例) 社会	日本国憲法と基本的人権（人権の内容についての理解）
(例) 道徳	「六千人の命のビザ」（人間の尊厳を感知する感覚）（世界の平和と人類の幸福に貢献するという理想に向かって活動しようとする）
(例) 学級活動	「自己理解と他者理解」（人間関係づくり）
(例) 行事等	文化祭についての話し合いや準備等（互いを尊重したコミュニケーション技能）（人間関係を調整する能力）